



入学の喜びを共に～15名の「南っ子」誕生です

前途洋々

去る4月9日（金）、菊陽町教育委員会平木教育部長の御臨席のもと、令和3年度の入学式を執り行いました。本年度は男子3名、女子12名計15名の新一年生を迎えることができました。和やかな雰囲気の中で式は進み、凛々しい表情の子供たちは、最後まで落ち着いた様子で参加することができ、とても感心しました。入学から一週間以上が経過しましたが、1年担任の岡田先生、おひさま学級担任の古賀先生の指導のもと、順調なスタートを切ることができています。いつ教室を覗いても、前を向いてしっかり先生のお話を聞いています。これからの頑張りがますます楽しみです。

15名の「新南っ子」に、ご家庭及び地域の皆様の応援をよろしく願います。



前日の準備の時の先生方の様子です。新入生の入場を彩る「花のアーチ」の具合を確認しています。いい式にするため、声をかけ合いながら、チェックをしています。



本年度も、三密を避けるため、式への参加者を制限せざるを得ませんでした。早くコロナが終息し、在校生や地域の皆様と共に入学を祝うことができるようになることを祈るばかりです。



これも、前日の準備の様子です。4～6年生が一行に並んで体育館フロアを拭き上げています。心を込めてきれいにしました。

歓迎遠足は学校で活動しました

16日（金）に実施した歓迎遠足は、「鼻ぐり井手公園」に出向く予定でしたが、小雨が降り続き、実行委員会が準備してくれた**レクレーション**等の活動を校内で楽しむことになりました。また、本校では、児童間の親睦を深め、コミュニケーション能力の育成を図るために、異学年で組んだ「たてわり班」活動を実施しています。この日は新しい班の顔合わせも行われ、一緒にお弁当も食べました。この日に限らず、高学年の子供たちは新1年生のお世話をよくしてくれており、とても頼もしいです。



タブレット端末に向かってクイズを出しているところです

レクレーションは、ICT（Teams）を活用して各教室を大型テレビの画面でつなぎ、クイズを出したり解答したりしました。昔は考えられなかったことが学校でも可能になっています。なお、菊陽町はICT教育、プログラミング教育等の推進を取組の重点としています。